

上越プラーマー 株式会社

DX宣言書

2025年10月21日
上越プラーマー 株式会社
代表取締役 瀧田 和之

□ 経営理念

地域で信頼される配管業者として、従業員の生活を守りながら、地域社会に貢献することを目指します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 現場と事務一体でデジタル化を推進することで、業務効率化を図ります
- ◆ 若手従業員を積極的に採用・育成し、世代を超えて支え合う体制を整えることで、持続可能な成長を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2027年3月)

戦略 「デジタル技術を活用した社内業務の効率化」

- 施策
- ・ 日報をデジタル化し、現場と事務の情報伝達を迅速化
 - ・ 業務データを集約し、工事の進捗状況や人員配置を可視化することで、各現場の作業状況や従業員の稼働状況を一元的に把握
 - ・ 勤怠管理から給与計算までの作業をデジタル化し、事務処理を効率化
 - ・ 資材の入出庫を正確に把握するため、高額資材や使用頻度の高い資材から優先的に資材管理を実施
 - ・ 多能工化に向けて、作業マニュアルの再整備やノウハウを共有する勉強会を実施
 - ・ 会社ホームページを制作し、採用・顧客向けの情報発信を強化

➤ フェーズ2(2027年4月～2028年3月)

戦略 「業務プロセスの自動化と、人材採用の強化」

- 施策
- ・ 従業員の作業量を更に削減するため、AIやRPA等を活用して定例業務を自動化
※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション):パソコン上で人が手作業で行う定型的な業務や反復作業を、ソフトウェアロボットが自動で実行する技術
 - ・ 会社ホームページを活用し、仕事内容や従業員インタビュー等を掲載することで、自社の魅力を発信
 - ・ DXの取り組みにより創出された余剰時間を活用し、従業員の資格取得を支援

➤ フェーズ3(2028年4月 ～ 2028年10月)

戦略 「継続的なDXの取り組みと新たな価値創出」

- 施策
- ・ これまでのDX施策を振り返り、進捗状況や課題を洗い出すことで、継続的な改善の仕組みを定着化
 - ・ 社内に蓄積されたノウハウを基に、新たなサービスや事業展開を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 勉強会の実施 : 3ヵ月に1回以上(～2028年3月)
- ・ 資格取得者(例:配管技能士、施工管理技士) : 2名増加(～2028年10月)